

SA 吹田 通 信 第 8 号

2004年1月

発行 SA 吹田 事務局 〒565-0821 吹田市山田東4-41-4-506

TEL&FAX 06-6876-1437

◆SA 南河内地域活動報告会に参加して◆

会長 丹羽 史朗

1月8日、1月度のSA連協幹事会が河内長野市ノバティホールであり、引き続いて、午後に南河内地域の活動報告会が開催されました。南河内地域SAは、河内長野、松原、富田林と組織化して間もないはびきの（含む富田林）の4地区SAで成り立っており、今また、大阪狭山に新設の動きができてきているとのこと。今回は、発足したばかりで報告する実績に乏しいとして、SAはびきのはパスされましたが、残る3地区の報告が行われました。日頃、連協の全体行事に余り参加される方がなく、どんなかなと思っていましたが、3地区とも盛り沢山の内容で、会員数の多い地区SAも負けてられないぞ、という気にさせてもらいました。

また、報告会の後、会場ロビーを使って懇親会（会費無料）が催されましたが、地区の女性会員のお心尽くしのお料理と地酒「天野酒」の美味に、大いに盛り上がり、大成功の報告会だったと感じました。南部地区の幹事さん方から、口癖のように南から遠い遠い吹田まで行ってもらいに忍びない、とお聞きしていましたが、この度は初めて河内長野まで伺いして、「遠さ」を実感させられました。8時過ぎに家を出て、阪急・地下鉄・南海と乗り継いで約2時間、10時の開会ぎりぎりに滑り込むような有様で、子供の頃の遠足の気分を味わいました。大阪府の南部地区の方々には、シルバーアドバイザー養成講座の南校が開設されることになったことは、時間的にも、経済的にも大いに助けになることでしょう。益々のご発展をお祈りしたいと思います。

◆SA1期を受講してから今日まで地域で活動◆

森田 節雄 (SA1期)

新春を迎え、SA吹田支部発展の為に、ご活躍をお慶び申し上げます。第8号原稿募集についてご案内をいただきました。昨年11月14日北千里公民館においてSA全体集会に久方ぶりに出席させていただき、何分にも高齢の身に恥ずかしい気持ちでした。SA1期生として地域活動専攻コースは瀬川一人先生の担任で試行錯誤の一年でした。クラブ活動の一端として箕面・高槻・東大阪・吹田のデイサービス、経費老人ホーム、特養の見学、実習、老人会のリーダーとして学びました。平成4年よりは老人クラブ、単位クラブ、地区連合会、豊寿会の会長も自分なりに懸命に任務を全うして参りました。微力ながらもSAの地域活動で学んだことも意義があったと思います。

アドバイザーの称号更新は80才後は致しておりません。SAの称号なしで支部の一員であったことを恥ずかしく思っています。エパグリーンのボランティアも出口正巳氏のもとで過去に行ってきました。何分にも86歳7ヶ月余の年齢で余りお役にも立てず、このたびでSA吹田支部を脱会させていただきます。

長い間御世話様になり本当にありがとうございました。自分なりに地域で活動してきた積りです。皆様もご自愛の上SA吹田支部の発展の為に活躍をされることを念じています。称号なしで現在まで会員であったこととお詫びいたします。今後とも自分なりにでき得ることは地域で頑張ってまいります。

丹羽会長から一言・・・森田さん、永い間ご苦勞様でした。ご高齢故とおっしゃられれば退会されるのもやむを得ないと存じます。なお、称号認定は、会員資格とは関係ございません。堂々と胸を張って、悠々自適の生活をお楽しみ下さい。

◆SAの位置づけと組織変遷への提言◆

岡本 茂 (SA13期)

シルバーアドバイザーとは何なのか、大阪府がその資格を認定することが何の意味があるのか、そしてその認定の位置づけはされているのか、疑問に思っています。

私は、府に苦情を言うつもりはありませんが、1年間受講したからと言ってボランティア活動をなかば強要して以後、活動のサポートがなされていません。活動の行政指導(各市町村に対するサポート)、活動補助金、活動者の保険等も考慮されず、財団に丸投げ的な委託にすぎないのではないのでしょうか。

昨今の少子・高齢化社会においては年金制度の改革が叫ばれています。報道によりますと、高齢者の支給についても対象者年齢の改定や支給額の大幅削減が報じられています。また話題の消費税アップ等三位一体の改革は、弱者に大きく齎寄せしようとしています。このような背景の中で、果たしてSAの皆さんはこれからも各自の負担(行動費、材料費、研修費、保険費等)でボランティア活動と言うきれいな事が継続できるのでしょうか。

その対策として、大阪府、各市町村に対して組織の位置づけを認定してもらい、活動補助金や活動拠点を確保するとともに、安心して活動できる環境づくりを目指すべきではないでしょうか。この様な団体に対する補助事業について、吹田市では現在中間答申で認められ、来年度施行を目指して議会審議を残す段階までできていると聞いています。

SA講座修了者の中でも、SA団体に所属していないグループで、国際交流、環境保全、町づくり、市民活動と多彩な分野に参画されている方々、また私たちの様に個人としての奉仕活動は有意義ながらも、SAとして包含した活動としてとらえられない面があります。

そのためには、SA連協は活動範囲を福祉、環境だけでなく、文化や住民活動に関連する「グループ、個人」を含めた活動へと広める必要があると思います。元気な高齢者は求められています。各地区の自治諸団体にも参画して、余裕のある時間帯と経験を生かし、先頭にたって活動されることが期待されているのではないのでしょうか。

以上のことから組織の指導者は、これまでの第1期は組織構成と会員の充実とし、第2期は活動範囲の拡充と内容の充実を目指すべきではないのでしょうか。

◆昔の遊びで小学生と交流◆

古江台小学校と江坂大池小学校

小北 月子 (SA13期)

1月15日(木) 午前9時30分から11時30分まで、古江台小学校で1年生の児童を対象に地域の高齢者の方々と共に昔の遊びに参加しました。

1年生2クラス50名、地域の高齢者10名、SA吹田から7名が、折り紙、お手玉、あや取り、おはじき、こま回し、たこあげ、竹とんぼ飛ばし、ストロートンボを低学年図書室、

多目的ホール、校庭に分かれて遊びました。はじめに、多目的ホールで、子どもたちの元気のいい挨拶があり、それぞれのコーナーに分かれ遊びが始まりました。昔子供の頃に遊んだいろいろな遊びを思い出しながら、子どもたちに自分の得意な遊びを手ほどきし、共に楽しいひと時を過ごしました。好奇心、元気いっぱい1年生も日ごろ遊んでいるゲームなどと違った面白い遊びに、わくわくし目を輝かせて、いろいろなコーナーを廻って昔の遊びを体験していました。

時間があっという間に過ぎ、最後に子どもたちの楽しかった、もっと違う遊びもしたかった、などの感想とお礼の言葉を後に交流会を終えました。

1月20日(火) 午前10時45分から12時まで、江坂大池小学校2年生2クラス約60名を対象に地域の高齢者の方々と共に昔の遊びに参加しました。地域の高齢者10名、SA吹田7名、MUS2名が参加し、はじめに体育館で子どもたちの挨拶があり、私たちは昔遊びの名人として紹介されました。

続いてお手玉、おはじき、こま回し、あやとり、はねつき、ビー玉、けんだま、ぺったんを各教室に分かれ、子どもたちは希望する遊びのコーナーへ行き共に遊びが始まりました。子どもたちは昔の遊びの面白さ楽しさにわくわくし、一生懸命遊びを覚えようとして、私たちも限られた時間の中で、子どもたちに覚えてもらおうと工夫しながら30分間があったという間に過ぎました。もう少し遊びたいと言う子どもたちを体育館に集め、最初にその場で私たちが作ったストロートンボを次々と飛ばすと、ワァーという歓声が湧き起こりました。材料を配りいっせいにストロートンボ作りが始まり、ホッチキスで止め、絵を描いて完成。出来上がったばかりのストロートンボを次々飛ばし始めました。時間が少なかったのでどれも駆け足で通りすぎました。もう一度もっとゆっくり子どもたちと遊ぶ時間を持ちたいと思いながら交流会を終えました。

【公園に健康器具を】——NO3

◆健康器具についてのアンケート調査の結果報告◆

三好 桂子(SA13期)

吹田市の公園に健康器具の設置を求める運動を続けてまいりましたが、この度は、まず60歳以上の高齢者に健康器具についてどれだけ関心を持っておられるかを調査しました。137名の方にご協力をいただき、下記の集計結果となりました。

調査期間 2003年10月上旬～12月下旬
配布・回収場所 大阪府老人総合センターを中心に配布

1. 健康器具が公園に設置されているのを見たことがある。以下()内は吹田市在住者
ある 43名(11名) ない 83名
2. 設置されているのを見た公園
豊中市 新千里東町3丁目・千里中央セルシー広場・二の切池
茨木市 茨木市内・西河原・茨木桜通り・安威川遊歩道
吹田市 片山公園・片山北ふれあい公園・万博公園・南千里公園・
山田西高町池公園・青山台公園・山手公園・藤白公園
その他 忘れた・覚えていない

3. 使用したことがある
ある 21名 (7名) ない 103名
4. 近くに健康器具が設置されれば使用したい
はい 94名 (62名) いいえ 27名
5. 住所
吹田市内 75名 吹田市外 50名

(回収枚数と回答の数は空欄があるため合っていない)

健康器具が設置されているのを知ってはいるが使用したことがない、また設置されているの知らない方が多かった。ただ健康器具を設置するだけでなく、説明板の設置および市報「すいた」などでPRをする必要があると思います。

SA 吹田活動予定 (2月~3月)

- 2月5日(木) SA連絡協議会幹事会 午後 おもちゃ代表委員会合
- 2月9日(月) SA吹田役員会 10:00~
- 2月12日(木) 学童保育指導員研修会 最終準備
- 2月16日(月) ふあいんえいじふおーらむ (大阪市国際交流会館 上本町8丁目)
パネル展示発表
- 2月18日(水) 10:00~12:00 国民会館 12F 会議室 (大手前1丁目)
- 2月20日(金) 学童保育指導員へのおもちゃづくり研修会
- 2月22日(日) ドリームネット第4回ミニ文化交流 吹田市国際交流協会
13時30分
- 3月1日(月) SA16期生 活動報告会 (地域別・吹田 13:00~13:20 予定)
- 3月4日(木) SA連協幹事会 午後 歌体操代表委員会合〔II〕
- 3月8日(月) SA16期生 活動報告会 (専攻別)
- 3月15日(月) 吹田16期生 グループ結成式 13:00
- 3月17日(水) 弘済院 小学校 おもちゃづくり 10時~11時30分

特別企画 シルバーアドバイザー養成講座は今春には17期を迎えようとしています。受講当時の講座の内容・講師の思い出・特に印象に残っている事柄また終了後の活動状況など広く原稿を募集致します。また関連資料をご提供いただける方、お借りできれば参考にさせていただきたく事務局まで連絡お願い致します。シルバーアドバイザー連絡協議会の会報誌『シルバー通信』におきましても特集を組み各地域の歴史の流れを発表するように予定しています。

今年の冬は大阪でも久方ぶりに雪のちらつく日があり、雪景色を楽しむことができました。今月号では、1期から5期の修了者の方をお願いして原稿をいただいたり、また今後資料を提供しますとの連絡をいただいております。また、みなさまの日ごろの活動状況や行事予定をお知らせいただきますようお願い致します。順次掲載してまいります。